



求められる 3つのつながり。

いまや日本だけでなく世界的にも経済・情報・文化の集積地となった東京に家を建てて住むということは、多様で充実した生活インフラを享受できるだけではなく、それを基盤に、前ページで触れた「夢」を実現していくことこそ、最も大切なことであり、積水ハウスが目指す都市住宅のゴールです。そのために欠かせないものがあるとき、3つのつながりが浮かび上がってきました。まず建物の林立する都市では貴重な光や風、緑、水などの「自然」とのつながり。そして、暮らしの最小単位である家族のつながり。あるいは、気心の知れた友人、仲間とのつながりなどの「人」とのつながり。さらに、隣近所との良好な関係づくりや美しい街なみづくりへの貢献を通して得られる「街」とのつながりです。何を心地よいと感じ、何を楽しいと感じるかは、人によって違います。同じ人でも、時と場合によって異なるかも知れません。だから住宅を計画する際には、3つのつながりを住まい手の求めに応じてコントロールする。あるいは、住まい手自身がコントロールできるように計画することが求められます。では、その具体的なアイデアとは、どんなものか。次のページから「自然」「人」「街」という流れに沿って、ご紹介・ご説明します。

こも 「集う」「籠る」アイデア

人とのつながりをコントロール。家族や友人など、みんなで楽しむこともあれば、趣味に没頭してひとりで愉しむこともあります。それぞれのシーンに必要なアイデアをご紹介します。

人とのつながり — P.24



さえぎ 「通す」「遮る」アイデア

光や風、緑、風景などを、住まいに上手に取り込むことが大切です。気になる外からの視線や見たくない景色などは遮ることも必要。様々な条件にあわせた具体的なアイデアをご紹介します。

自然とのつながり — P.06

まも 「招く」「衛る」アイデア

街なかにおいて地域とのつながりをどのように創るかは、プライバシーやセキュリティとの関係もあり、大切なテーマです。まずは建築的な観点から住まいにできるアイデアをご提案します。

街とのつながり — P.34

特定の立地条件のもとで、限られた敷地を生かすことが求められる都市住宅。基本的な課題をクリアするための空間のつくりかたをご紹介します。

都市住宅基礎講座 — P.41

Chapter 1

自然 とつながる



IDEA
001 — 022

001 — 004 ソトベヤをつくる P.08

005 — 011 光と風のとおりみち P.12

COLUMN 1 木漏れ日を科学する P.11

012 — 014 ソラに近いリビング P.16

015 — 017 風景を切り取る P.18

018 — 020 ウチとソトを曖昧にする P.20

021 — 022 ハダカで風を感じる P.22

COLUMN 2 露天風呂を科学する P.23

東京都内に一戸建ての家を持ちたい。そう考えている人が「一戸建てがマンションより魅力的だと思う理由」として最も多かった回答は「庭が使えるから (60.6%)」でした。この他「庭に樹木を植えられるから (32.2%)」「庭での食事やお茶を楽しめるから (25.9%)」と、庭に関する回答が多く見られました。一方で、「都市型住宅」から想起するイメージについて「庭がない」という回答が40%を占めていました。このことから、「庭が欲しい」という理想と、「庭を持つことは難しい」という現実に対する認識が見えてきます。「庭=最も身近な自然」と考えるならば、都市の中でも自然とつながる楽しみは実現できるはず。まず、光や風、空、緑など、自然とつながる家づくりをご紹介します。